



Vol.168

2025年10月15日発行
(令和7年)

議会だより

しらたか

9月定例会
山形県白鷹町議会



うまく乗れたよ

🚲 伝統のじてんしゃのり 🚲

さくらの保育園 親子運動会

11ページに関連記事

クマ、イノシシ捕獲数増 補正予算 ③ p

予算は適正に執行されたのか 決算審査 ④ p

ここが聞きたい 一般質問 ⑫ p

潤いのあるまちづくりを 令和8年度政策提言 ⑱ p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会議中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。



UD
白鷹町議会

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

9月定例会

決算 審査

予算は適正に執行されたのか

令和6年度決算審査

決算結果(一般会計)

①歳入の総額	107億6427万円
②歳出の総額	102億4890万円
③翌年度へ繰り越す財源	1445万円
●実質収支額(①－②－③)	5億 92万円

詳しくは4ページから

補正 予算

令和7年度補正予算を可決

クマやイノシシなどへの有害鳥獣対策など

●一般会計 補正額 1億8670万円

詳しくは3ページ

人事

新たな人事に同意

白鷹町教育委員会委員など 計3件

●任期満了に伴い、白鷹町教育委員会委員1人と、
他2件の人事案2人について同意しました。

詳しくは11ページ

定例会の概要

期 間

●9月3日～12日(10日間)

審 議

●令和6年度決算認定(8件) ●令和7年度補正予算(7件)
●条例設定、改正(3件) ●人事案件(3件) ●財産の取得(1件)
●請負契約の締結(1件) ●指定管理者の指定(1件)
●報告案件(1件) ※全て原案のとおり可決

一般質問

●金田 悟 議員【令和の米騒動における対応について】
●笹原 俊一 議員【道の駅を核とした地域資源の再発掘と住民協働による観光拠点づくり】
●横山 和浩 議員【「稼ぐ紅花」の推進について】
●竹田 雅彦 議員【児童生徒を取り巻く環境の改善について】

クマ、イノシシ捕獲数 増

補正予算の 主な質疑



増えた捕獲数
丸川委員 本年度のクマ、イノシシの捕獲数と補正理由は。
林政課長 8月末でクマ15頭、イノシシ22頭。秋口からの実施隊の出動回数の増加に対応して補正を組んだ。



食害を受けたトウモロコシ畑

鳥獣保護管理法改正
佐々木委員 管理法が改正され、今後安全対策会議を開くなどの新たな予算対応はあるか。
林政課長 国の支援があると聞いているが県で予算化されていないため見通せない。

町道補修工事予算増
佐々木委員 例年と比べ工事予算が増えた理由は。対応箇所数は。
建設課長 各地区からの要望のほとんどが建設課に対するもので、その中で緊急的に対応する危険箇所があり、工事は10か所前後を予定している。



修繕を待つペアリフト

一般会計補正予算の主な内容

有害鳥獣対策事業	160万円
実施隊の出動回数が増えたため補助金を増額	
町道維持補修費	1400万円
区からの要望個所の補修工事	
スキー場ペアリフト等改修事業	408万円
スキー場ペアリフトなどの改修工事	
畜産生産持続強化支援事業	376万円
暑熱対策に取り組む畜産経営体への支援	
空き家対策事業	140万円
空き家利活用支援交付金の追加	
子育て支援及び若者定住促進住宅整備事業	481万円
熱源となるボイラー施設の設計	
消防用施設整備事業	700万円
水防倉庫を建てるための追加工事費用	
学校給食費支援事業	718万円
物価高の影響を受ける学校給食費の追加支援	
学校給食共同調理場費	132万円
施設の修繕費用	

など 総額1億8670万円補正し、一般会計予算総額は108億8843円となった。
◎財源は、国・県支出金・地方債・繰越金などで対応します。

※万円未満は端数調整

スキー場の改修
横山委員 ペアリフト以外で修繕するものはないか。
教育次長 シーズン終了後の点検で高圧ケーブルやスキーセンサーの自動ドアに不具合が見つかり工事費を増額した。

予算は適正に執行されたのか

各会計決算の議決状況

会 計 項 目			歳入(収入)	歳出(支出)	議決状況 全員賛成により認定
一 般 会 計			107億6427万円	102億4890万円	
特別会計	十 王 財 産 区		307万円	46万円	
	国民健康保険		13億2192万円	12億9455万円	
	介 護 保 険		16億9108万円	16億 890万円	
	後期高齢者医療		2億 21万円	1億9658万円	
事業会計	水 道	収益的	2億8413万円	2億8167万円	
		資本的	1億2434万円	2億 679万円	
	下水道	収益的	5億7471万円	5億5201万円	
		資本的	1億1264万円	3億 670万円	
	病 院	収益的	12億2773万円	12億 840万円	
		資本的	7635万円	1億8185万円	
合 計			163億8045万円	146億4681万円	

※万円未満は端数調整
※「収益的」は事業に係る収入と支出。「資本的」は施設・設備に係る収入と支出。

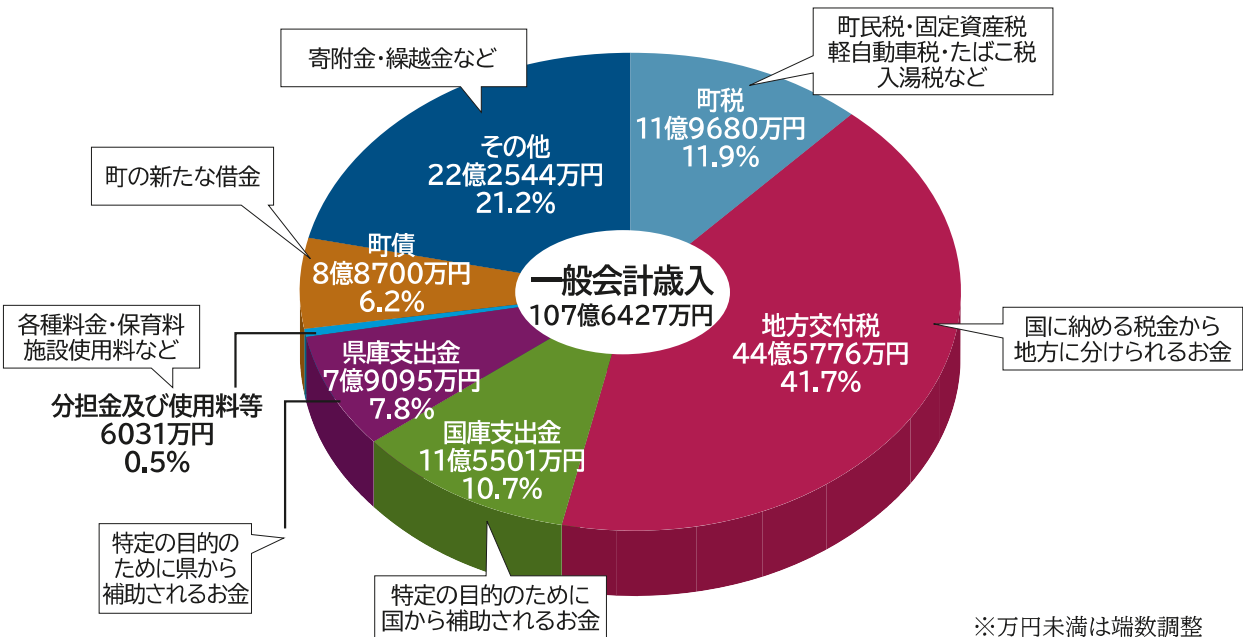
議員視点で決算を審査
議会で可決した予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を精査し、審査しました。審査の結果は、次年度以降の予算編成や行政執行に活かされます。

6ページから関連記事

令和6年度に行った主な投資的事業

※万円未満は端数調整

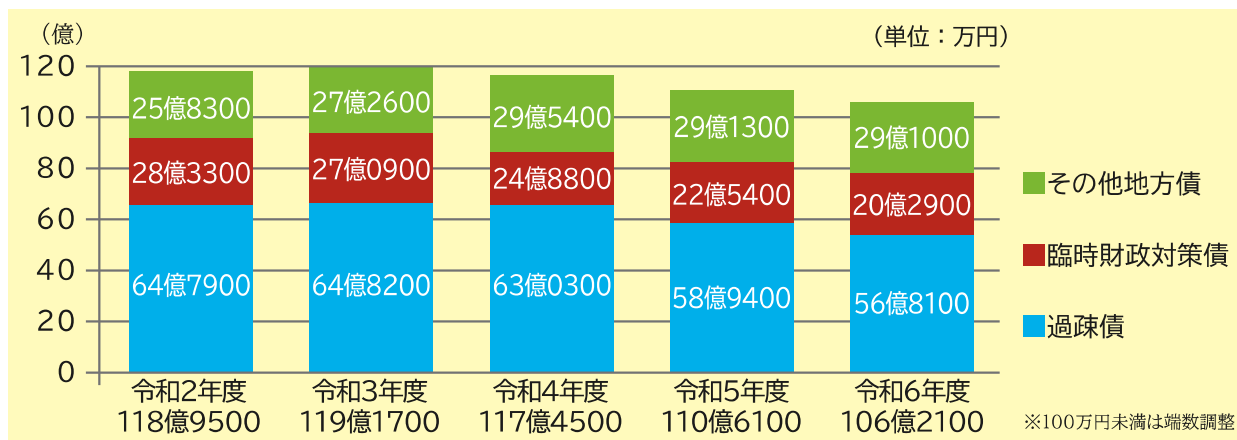
・多世代交流型子育て支援		・産地生産基盤パワーアップ事業	9455万円
健康推進拠点施設整備事業	2億8511万円	・橋梁安全対策事業	1063万円
・中学校施設改修事業	2億1392万円	・道路改良事業	1億5410万円
・町民武道館空調設備整備事業	5841万円	・消防ポンプ自動車購入事業	2564万円



※万円未満は端数調整

地方債（借金）残高の状況

●地方債とは、町が会計年度を超えて行う借入れのことです。



●その他地方債とは

災害復旧や教育福祉施設整備などのための借り入れ。
返済額の一部は普通交付税として国から町に交付される。

■臨時財政対策債とは

国の財源不足を補うための地方の借り入れ。
返済額的全額が普通交付税として国から町に交付される。

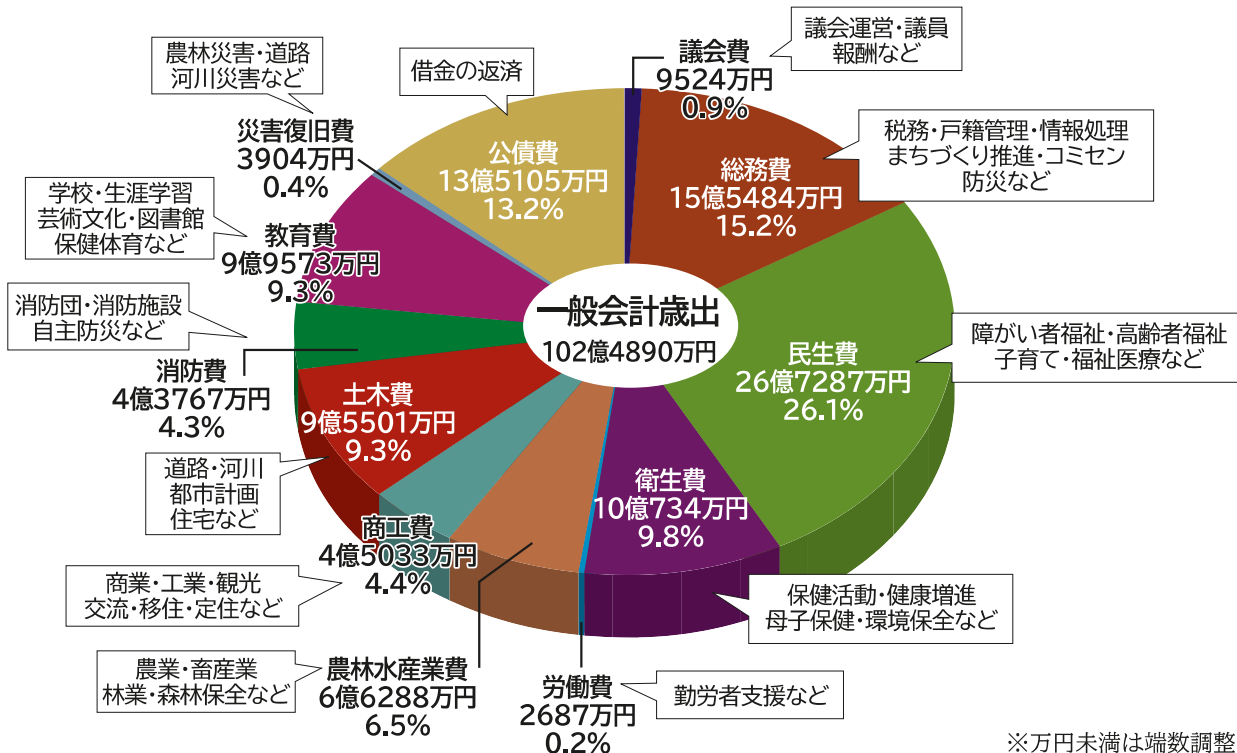
■過疎債とは

過疎地域にあたる市町村限定で、発行が認められる借り入れ。
返済額の7割が普通交付税として国から町に交付され、残りの3割を町が負担する。

町の借金は着実に減少しているが、財政力は依然として弱い。

白鷹町の財政力

区分・年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	説明
財政力指数	0.275	0.269	0.269	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経常収支比率	90.3	92.2	93.1	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	10.7	11.8	12.6	収入に対する負債返済の割合。



決算特別委員会



録画配信
（後半）



録画配信
（前半）

歳入

〔町の収入〕

一般会計

税金の未納対策

〔横山委員〕 個人町民税の滞納繰越における不納欠損状況と未納対策は。

〔税務出納課長〕 不納欠損として、町民税ほか全体で179件、963万円ほど。内訳として、個人町民税は45件144万円。

欠損理由として、生活困窮、所在不明、財産なし、破産法人や相続人不在、時効消滅などが主な理由である。

〔副町長〕 滞納繰越分は電話や文書、訪問などを繰り返し、随時納税相談なども含めて丁寧に対応している。生活が厳しい方には納税相談に応じている。

伸び悩むふるさと納税

〔竹田委員〕 寄附金は約6718万円、件数は3678件となった。どう評価しているか。

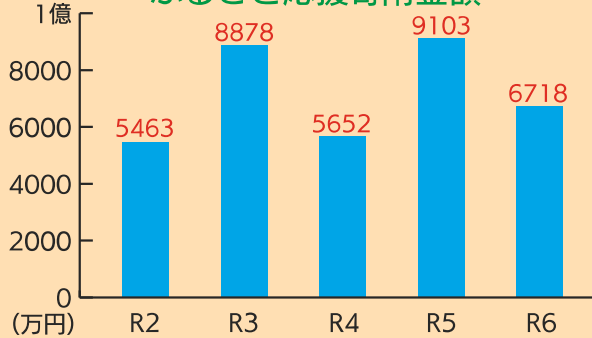
〔商工観光課長〕 令和5年度より寄附額、寄附件数とも減少。制度改正で、ビールを返礼品として取り扱えなくなったことが最大の要因。米や果樹等農産物の在庫切れなどが伸び悩みの原因と考えている。



〔竹田委員〕 今後どう取り組んでいくのか。

〔商工観光課長〕 令和6年度から新たな返礼品として、フリーズドライなどの加工食品や、自動車学校の受講のクーポン券、宿泊のクーポン券なども取り扱いを始めた。そういう取り組みも引き続き行っていきたい。

ふるさと応援寄附金額



監査意見

積極的に事業展開されたことを評価する

令和6年度一般会計の実質収支は5億91万円の黒字だが、実質収支比率は前年度比3.7ポイント減の9.3%、経常収支比率は前年度比0.9ポイント増の93.1%となった。

これは、普通交付税は増加したものの、人件費・物件費・扶助費等の経常経費の増加によるものであり、財政の硬直化が懸念される。今後とも諸指標の推移を注視しながら健全な財政運営に努めていただきたい。

主な事業では、人材確保、子育て支援、教育の充実、経済回復対策、デジタル化の推進、定住化に向けた取組など町政の重要課題において積極的に事業が展開されたことを評価する。

人口減少の急速な進行、気象・気候の急激な変動や高度情報化社会への対応など、行政に求められる課題は非常に複雑・困難化している。町では第6次総合計画の後期基本計画が策定され、「人への投資」をはじめとした人口対策など、町の将来像の確実な実現に向けた取り組みが期待される。今後とも、町民の安心安全の確保と福祉の向上が図られるよう努力を望む。

代表監査委員

小谷部 仁

監査委員

今野 正明

歳 出

〔町の支出〕

総務費

地域人材ベースキャン

〔笹原委員〕 地域人材ベ

ースキャンの設立後
の成果と現状は。

〔企画政策課長〕 3人が

農業に従事しており、
担い手の確保が図られ
た。

若者移住定住支援

〔佐々木委員〕 移住され

た方々へ、町の魅力な
ど本町を選ばれた理由
について何う調査等は
行っているか。

〔企画政策課長〕 平成30

年から119件に支援
しており、現在その方
々にアンケート調査を
行っている。結果を分
析し、今後に向けて活
用していきたいと考え
ている。

職員研修の取り組み

〔横山委員〕 職員研修事

業で特徴的な取り組み
は何か。

〔総務課長〕 自治体でも

DX（デジタル変革）を
積極的に進める必要が
あり、デジタル技術を
生かした業務改善等に
取り組んだ。

〔横山委員〕 具体的には

DXのどの分野か。

〔総務課長〕 DXマイ

ン
ド醸成研修を皮切りに、
業務改善の研修など基
礎的・応用的な部分を
実施。デジタル変革に
進んで取り組める職員
を育成したい。

特殊詐欺対策

〔丸川委員〕 特殊詐欺に

関わる相談数は。

〔町民課長〕 令和6年度

はなかったが、今年度
は2件の相談がある。

〔丸川委員〕 防止につ

てどのように町民に周
知していくのか。

〔町民課長〕 町の公式L

INEやフェイスブッ
ク、高齢者交通安全教
室等で周知をしている。
また、「安全安心なまち
づくり町民大会」で特
殊詐欺防止をテーマに
した講演を考えている。

民生費

ヒアリングフレイル

〔笹原委員〕 ヒアリング

フレイル予防補助金の
実績が少ない。周知は
十分だったか。

〔健康福祉課長〕 問い合

わせが5件で1人から
申請があった。町報の
ほか、健康まつりなど
で78人に「聞こえのチ
ェック」を受けていた
で、周知を図った。

雪下ろし補助の見直し

〔衣袋委員〕 建設関係で

は、複数で雪下ろしを
するよう指導もあるが、
補助金額の見直し等は
考えているか。

〔健康福祉課長〕 雪下ろ

しをした場合、1万8
千円を上限に3回分助
成している。物価上昇
や賃上げの中で労務費
等についても引き上げ
になっていると把握し
ている。人材確保も課
題となっていることか
ら、単価の見直しにつ
いて検討を進めていく。

除排雪への補助

〔衣袋委員〕 雪下ろし後

の除排雪への補助等の
考えはあるか。

〔健康福祉課長〕 民生委

員と意見交換等を行い、
実施に向けた具体的な
検討を進めたい。



子育てへの支援

【横山委員】子育て支援・健康応援推進業務委託の成果は。

【健康福祉課長】デジタル技術を活用し、子育て支援や健康増進に資する仕組みを構築し、実証実験を経て運用していく事業。町の現状・ニーズ等の調査・研究・仕組み構築に必要な情報の整理等を行い、仕組み構築の素案を作成していただいた。

介護人材確保事業

【竹田委員】令和6年度の実績と評価はどうか。

【健康福祉課長】人材紹介手数料等の補助を1法人、外国人8人の採用に対して行った。介護提供基盤の確保という部分では必要な支援だと捉えている。

【竹田委員】介護人材は足りているのか。

【健康福祉課長】入所施



いつまでもお元気で

設では、完全に充足しているという施設はなかった。処遇改善や環境改善、新規就労者の確保が重要だと捉えている。

敬老会への交付金

【佐々木委員】敬老会への交付金を増額して欲しいという要望も出ているようだが、当局の考えはどうか。

【町長】分館での開催や施設を利用するなど、地域によりさまざまな考えがある。地域の中心

でのお祝いを応援させていたくという姿勢を持ちながら、検討させていただきたい。

衛生費

人間ドック

【笹原委員】人間ドックの終日コースが再開したが、実績はどうか。

【健康福祉課長】終日コースの受診は236人、半日ドックと合わせ824人で、前年度の856人から減少した。

子どもの検診

【横山委員】子どもの健康づくり健診事業の実績は。

【健康福祉課長】小学5年・中学2年の希望する児童生徒が対象で、それぞれ38人、40人が受診した。

【横山委員】思春期の心の健康については、問診に含まれているか。

【健康福祉課長】「心は元気ですか」などの問診項目があり、自由記載欄の内容に応じて心のケアにつないでいる。

歯周疾患健診事業

【丸川委員】対象を20代、30代に拡大したが、受診率はどうだったか。

【健康福祉課長】20歳については8・5%、30歳では8・3%であった。【丸川委員】受診率が低いと思われるが、向上への取り組みをどうしていくのか。

【健康福祉課長】歯周疾患の予防を自分事として関心を持っていた

き、年代別の歯周病リスクというものを個別通知しながら受診率の向上に取り組んでいきたい。



労働費

正社員化促進事業

【竹田委員】不用額が150万円ほどあり、実績が上がってこない。今後、どう働きかけていくのか。

【商工観光課長】今年度、人材確保や人材育成等に係る町の支援施策について、改めて事業者の皆さまに説明会を開催し周知を図った。

農林水産業費

町産木造の活用

【山田委員】補助金活用の需要が少ないが状況はどうか。

【林政課長】住宅着工数が全国的に少ないため、町産材の需要も厳しい状況にある。町内で加工しているJAS材の使用をピーアールしていきたい。

有害鳥獣対策

【山田委員】有害鳥獣駆除の重要な担い手である鳥獣被害対策実施隊への支援の課題は何か。

【林政課長】実施隊の平均年齢は約65歳。新規免許取得希望者を募るなど努力したい。

三鷹市と連携した 森林整備事業

【佐々木委員】令和8年度までをめどに連携協定を締結しているが、9年度以降の事業継続の見通しはあるのか。

【林政課長】今後も継続していただければありがたいが、三鷹市の考えによるところであるため、こちらとしてはお願いをしていく立場であると考えている。



花粉の少ない杉の苗木

杉の苗木生産補助

【佐々木委員】杉の苗木生産に対する補助金、支出が無かった理由と、その後の状況はどうなっているのか。

【林政課長】苗木の生産が順調に進まず、出荷が無かったため補助を行わなかった。令和7年度はある程度の出荷が見込めるので、支援をすることになると考えている。

新規就農支援と広報

【横山委員】新規就農者育成支援事業補助金の成果と広報方法は。

【農政課長】令和4年度からの家賃補助として1件を支援している。新規就農者の傾向として令和元年度からの6年間で4人の方が新たに就農している。広報に関しては、各種方法で行っているが、現状として認知度が低い。宣伝効果の高い広報媒体など検討したい。

【機構集積協力金交付事業】

【金田委員】農地中間管理機構を通じた集積協力者への給付金交付事業であるが、担い手への農地集積が伸び悩んだため、大幅に減額となったのか。

【農政課長】一般地域の区分の見直し、中山間地域の区分の廃止など

事業の見直しが行われ、事業の活用が進まなかったため減額となった。

【金田委員】農業委員会及び地域計画との連携をどう図っていくのか。

【農政課長】地域計画の目標地図作成は、農業委員会が中心的な役割を担っており、引き続き、JA・土地改良区などの関係機関と町が連携し、取り組んでいく。



若い力ががんばります

商工費

国際交流事業

【横山委員】国際交流事業の実績と今後の展開は。

【商工観光課長】中国の成都市、西安市の野球スポーツ少年団を招き、

鮎貝小学校の児童との交流、本町のスポーツ少年団との合同練習など行った。

【町長】相互に往来させたい気持ちもある。国やJICA（国際協力機構）の枠組みではなく、町として交流しながら将来に向けて考えたい。

創業への支援事業

【佐々木委員】支援を活用し、町内で新たに起業する方が増えているようだが、今後も事業継続の考えはあるか。

【商工観光課長】特に若い方の創業にも期待している。また、地元に戻って起業するというのも一つの選択肢となり、移住の後押しになるのではないかと考えている。今後も継続していきたい。



スポーツで国際交流

土木費

除雪車運転の担い手育成補助金

【佐々木委員】除雪車の運転手が高齢化などで年々不足している。これまでの免許取得の実績は。また今後も事業を継続する考えはあるか。

【建設課長】これまで複数の会社から6人が免許を取得している。令和7年度もすでに3人への交付を決定しており、効果が出ていると認識している。

商工会とも意見交換しながら、今後の事業のあり方を検討していきたい。

消防費

消火栓の整備

〔金田委員〕 消火栓整備

に関して、予算に対して700万円ほど減額になっているが、これは計画に沿ったものか。

〔総務課長〕 当初5件（新

設1、移設2、交換2）の整備を予定していたが、そのうちの移設1件が道路工事の進捗により実施できなかったことから減額となった。



道路工事で移設

消火栓への代替え

〔丸川委員〕 無蓋貯水槽

の有蓋化について地域から要望がある中で、消火栓で代替え可能な箇所について、地域で理解していただくための説明をどうしていくのか。

〔総務課長〕 消火栓、防

火水槽の位置関係をデジタル地図に落とし込んで、有蓋化、代替え、また廃止も含めて可視化できるように準備を進めている。これらを踏まえて地域の皆様と話を進めていきたい。

教育費

学校生活支援員

〔笹原委員〕 特別に支援が必要な児童生徒が25%いるとのことだが、その要因は。また、支援員は足りているのか。

〔教育次長〕 特別支援教

育に対する理解が進み、適切に関係機関や医療とつながり、結果として人数が増えた。支援員は現在、荒砥小に3人、他の小学校と白鷹中に2人。生徒数の多い中学校に増員を検討したい。

中学校グラウンド排水対策工事

〔竹田委員〕 実施設計ま

で行ったが、現在の進捗状況は。

〔教育次長〕 国の交付金

を活用しながら実施する予定だったが、現時点で交付金の採択に至っていないため着手できない状況となっている。今後も継続して交付金の申請を行い、採択内定次第、着工できるよう準備を進めていく。

特別会計

介護保険

介護施設の利用状況

〔竹田委員〕 ショートス

ティやデイサービスの利用状況はどうか。

〔健康福祉課長〕 両サー

ビスとも利用者が減少傾向にある。

〔竹田委員〕 特別養護老

人ホーム待機者の動向はどうか。

〔健康福祉課長〕 白光園

は待機者が減少している状況。退所者も多く、今10床ほど空いていると聞いている。マイスカイ中山の待機者はほぼ横ばいの状況である。

賛成討論

竹田雅彦 議員

町民の福祉向上を

町税は、国の定額減税等により、令和5年度より約3000万円減少したが、収納率は96・3%と0・6ポイント上昇した。ふるさと納税も返礼品の条件変更により6718万円となった。今後も収納率の向上、寄付額増へ取り組んでいきたい。

飲食店の利用料金割引助成や地域応援券事業など、物価高対策に取り組み、一定の成果があった。

中学校体育館への空調設備導入や床のグレイドアップ、断熱機能の向上等の改修が行われ、環境が格段に向上した。

移住相談窓口を經由した移住者が10人、マルチワーカーが3人雇用されるなど、今までの取り組みが着実に結果に結びついている。地域の活性化に期待する。各事業の効果を常に検証し、町民のさらなる福祉の向上のため、各施策の目標達成を切に望む。

条例

- 白鷹町犯罪被害者等支援条例の設定
犯罪被害者等を支える地域社会を形成するために定めるもの。

◆令和7年10月1日施行

- 白鷹町職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業制度を拡充するほか関連条例を整備するもの。

◆令和7年10月1日施行

- 白鷹町病院事業の設置等に関する条例の一部改正

白鷹町病院事業のうち病床を次のように改正するもの。

◆現60床を57床に改める

◆令和7年9月30日施行

人事

- 白鷹町教育委員会委員の任命



原田 昌典 氏（新任・山口）
前任の任期満了に伴い、後任を任命するもの。

- 白鷹町固定資産評価審査委員の選任

千田 良子 氏（再任・荒砥）
任期満了に伴い、引き続き同人を選任するもの。

- 人権擁護委員候補者の推薦

菊地 洋子 氏（再任・鮎貝）
任期満了に伴い、引き続き同人を推薦するもの。

契約

- 子育て支援住宅及び若者定住促進住宅整備事業敷地造成工事請負契約

◆契約金額 2億3650万円
◆契約相手 株式会社鈴木工務店
代表取締役 鈴木 洋

◆概要 鮎貝地内神明アパート北側において、L型擁壁工、盛土工、側溝工などのほか、上下水道の本管工事を行うもの。

◆工期 令和8年3月27日

- 学習者用コンピュータの取得

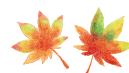
◆取得物件 学習者用コンピュータ（965台）
◆取得価格 3507万5000円
◆契約相手 NTT東日本株式会社山形支店
支店長 小澤 一仁

◆概要 令和2年度に整備した1人1台端末の耐用年数が経過するため更新するもの。

◆納期 令和8年2月27日

- 白鷹町健康福祉センターの指定管理者の指定

◆指定管理者の名称 アクティオ株式会社
◆指定期間 令和7年10月1日～令和13年3月31日



みんな真剣そのもの、一生懸命頑張る姿は小さい子たちのあこがれです。

露目です。統合前のあゆかい、こぐわ保育園時代から20年以上続く伝統の自転車乗りです。年中さんの春から練習をして、秋には仮免許を取得します。年長さんは運動会までに学科と実地の試験を受けて、本免許証を園からもらい、いよいよお披露目です。

親子運動会

やぐらの保育園

うまく乗れたよ
伝統の自転車乗り

表紙



録画を配信

令和の米騒動に関する認識は

町長 国・県・町がそこまで認識がなかったと思う



かね だ さとる
金田 悟 議員

昨年从今年にかけて、全国のスーパーからコメが消え、価格が高騰した、いわゆる「令和の米騒動」についての認識等を問う。

現状認識

問 令和の米騒動についての認識は。

町長 「生産の目安」を正しく見通していたか、農林水産省、県および我々が、そこまでの認識がなかったと言わざるを得ないと思っている。

また、国を信頼し、それに従って事業を展開するが、この信頼関係が崩壊寸前まで来ていると認識している。

コメの増産に向けて

問 国は、これまでの減反政策に区切りをつけ、農業者が増産に前向きに取り組める支援に転換すると表明したが、町の考え方は。

町長 農業については、きめ細やかないろいろな制度事業があるので、それらを活用しながら、少しでも生産者が安定できるよう、町として取り組んでいく。

生産者の意向調査

問 これから大きく変わろうとするコメ政策に対する、生産者の意向調査をどのようにしていくか。

農政課長 国から具体的な方策が示されていることから、引き続き情報収集に努め、具体的な方策をしっかりと見極めた中で対応を検討していく。



おいしいお米をありがとう

増産に向けた課題

問 一番大きな問題は人手不足であると思うが、どのように捉えているか。

農政課長 本町のみなさん、新規就農者に対しては、新規就農者に対する全国的な課題と認識している。

町では、新規就農者に対し、機械設備及び資格取得の支援等、就農に必要な各種支援を行っている。引き続き就農支援や情報発信を継続し、努めていく。

問 農業政策の不安定さも大きな課題と思うが、国に対して、末端の行政から運動を積み上げていってほしいが、どうか。

町長 声を大にして、皆さんと一緒に我々の思いを届けていく必要がある。

このことは、当局だけでは絶対できず、県議会、町議会と一緒に政府に訴えていく。

農業者へメッセージ

問 白鷹町には、約1300畝の水田があり、できる限り水田機能を維持し、水稲を作付けしてほしいと思う。そして、農業者が自信を持って農業を継続できることを願うが、農業者へのメッセージをお願いしたい。

町長 生産者の方々が、我々は日本の食料を守っているというプライドを持ってやっていくようにと思っている。そのような思いを持ちながら、行政運営をさせていただきたい。

私もひとこと

コメ価格がやっと正常な価格帯となり安堵しているが、増産すること、その反動が来ないか心配である。
(50代男性)

新たな道の駅の可能性は

町長 道の駅の形態に限らず魅力向上を図る



録画を配信

道の駅との相乗効果を生むであろう町の南側地域の更なる活性化を訴えました。

新・道の駅の可能性

道の駅の現状と課題

問 どりいむ農園直売所の集客実績や6次産業化拠点施設の建設を踏まえ、町の南側地域に新たな道の駅を整備する可能性について伺う。

問 白鷹ヤナ公園の集客数と経済効果をどう評価しているか。

町長 令和6年度は約2万人。観光拠点として一定の役割を果たしたが、売り上げは減少し機能や目的も時代とともに変化しており、再評価が必要と考える。

町長 道の駅という形態に限らず地域の活性化に向けてどのような方が適しているか検討し、魅力向上を図っていききたい。

町長 実態を見ると受託団体とかなり真剣に話をする必要がある。

問 近隣と比較し集客数にだいぶ開きがあるがどう考えるか。



ささはら としかず
笹原俊一 議員

道の駅集客数（令和6年度）

白鷹ヤナ公園	約 2万人
川のみなと長井	約49万人
あさひまち	約34万人
おおえ（R6.10～）	約22万人
いいで（R5年度）	約33万人

【参考】

どりいむ農園直売所	約28万人
-----------	-------

白鷹の魅力発信

問 ヤナ場、最上川舟運、紅花、果樹などを活用した観光ルートや体験型コンテンツの導入について伺う。

町長 観光戦略として地域資源を活用した体験・滞在型観光を推進する「白鷹町観光交流推進計画」を策定し取り組んでいる。

住民参加の協議会を

問 住民・事業者・行政の協働による協議会設立と、イベント企画・商品開発・観光戦略推進など、道の駅を地域住民と共に盛り上



さらなる魅力づくりに期待

げる仕組みづくりが必要と考えるがどうか。

町長 住民参加の活性化については、既存イベントへの協力に加え、協議会設置や民間との連携など多様な方法で地域活力を高める取り組みを検討していく。

問 6次産業化拠点施設を活用した滞在型観光の推進について、町の具体的な方針を伺いたい。

商工観光課長 拠点施設を活用し、連携・企画を通じて町の活性化を図る方針である。

私もひとこと

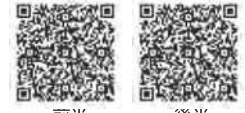
イベントの有無にかかわらず年間通じて「白鷹町と言えばここ」という集客施設がひとつ必要だ。（70代男性）

問 施設完成後、観光振興と交流人口増加をテーマに地域住民と協議する考えはあるか。

農政課長 どりいむ農園直売所や地域の方々と連携し、農作物のロス削減や冬季の所得向上に加え、地域のにぎわい創出も視野に整備を進めていく。今後は地域の声を反映しながら、関連施設と連携した運営を検討していく。

稼げる紅花への支援を期待

町長 一つの産業まで育て上げるのは難しい



前半 後半
録画を配信



よこやま かずひろ
横山和浩 議員

後継者不足が課題の紅花。
将来に向けた新たな取り組みを期待する。

稼げる紅花への支援

問 白鷹町は紅花生産量日本一であり、町の魅力も支えている。稼げる紅花への支援の考えは。

町長 新商品開発・加工等には膨大な労力が必要であり、紅花生産能力も足りておらず、一つの産業まで育て上げるのは難しい。観光客に購入いただける商品を提供できていないのが弱みと認識している。

紅花の収益性が課題

問 生産者の確保、連作障害が問題とされているが、本質的な課題はその収益性にあり、紅花の価値を多角的に捉え直し、稼げる紅花を確立するための支援が必要ではないか。

町長 町内の各種団体で構成する「日本の紅（あか）をつくる町連携推進本部」が多様な取り組みを行ない成果が出ている。紅花は複合経営に適し比較的販売単価も高いが、収穫・加工を機械化できず課題になっ



第30回白鷹紅花まつり
写真コンテスト入選作品

ている。これらを念頭に、継続できるよう協議しながら制度設計したい。稼げる紅花文化というのも、非常に大事な視点だと思う。

紅花の種の活用

問 機械化が見込める分野として、例えば種の活用は。

商工観光課長 次年度の作付け、紅花茶の材料、それ以外に種は用いられていない。種を活用したい方には、従来の枠組みの中で支援できる。

チームづくり

問 紅花の可能性を探りブランド育成するようなチームを設けては。

商工観光課長 何らかの新たな取り組みを始めるには行政のみでは難しい。

町内の人材のみならず、有識者、事業者などと連携し、様々な制度を使い取り組む必要があると考える。

観光への活用

問 町が取り組むウエルネスツーリズムでの紅花活用は。

商工観光課長 紅花染めなど現在の取り組みに加え、紅花という言葉や葉をキーワードに地域資源と組み合せた取り組みは十分に可能と考えている。

紅花への思いを伺う

問 紅花は文化性や視覚的な美しさがあり、感性と機能の両立ができる希有で可能性を秘めた資源。町長の紅花への思いを伺う。

町長 紅花の取り組みはまだ30年。50年、百年という歴史の中で活かせば良いと思う。町民の皆様の思いが続くよう、私からも皆様をお願いしたい。

私もひとこと

後継者がいなくて困っているが、もう少し頑張りたい。町の支援に期待してる。
(70代男性)

学力テストを受けての教育施策は

教育長 「できる・わかる・楽しい授業」を充実させる



録画を配信



たけ まさ ひ こ
竹田雅彦 議員

全国学力テスト等の結果を受けて問う。

山形県の平均は、小6の国語と算数、中3の国語と数学で全国を下回り、理科は小中ともに上回った。

児童生徒の学力

問 当町の課題は。

教育長 小学理科以外は全国を下回った。求められる資質・能力の向上が喫緊の課題。

教育施策

問 今後、どのような教育施策につなげていくか。

教育長 「読む」「書く」「聞く」活動や読書活動を重視し、読解力の向上に努める。「できる・わかる・楽しい授

業」を充実させ、学力向上を図る。

スマホ・ゲーム使用時間増

問 3年前より勉強時間が減り、スマホやゲーム時間が増えた。対策はどうか。

教育長 生徒会活動のノーメディアデー、PTAのメディアコントロールデー、家族ふれあいデーの取り組みを実施している。

生活支援員の維持・増員

問 現在は様々な特性の子があり、担任教諭一人では対応困難ではないか。現在の生活支援員の維持は必須であり、増員の考えは。

教育長 現在11人配置しており、今後も教員との協力体制の下、きめ細やかな指導を継続していきたい。

図書館司書の配置

問 読解力も課題との調査結果も出た。図書館司書を配置し、本に触れる機会の再構築も必要ではないか。

教育長 読解力は非常に重要と捉えている。様々な方法を模索し、今後検討していく。

ICTの活用

問 ICT機器活用に自信のある児童・生徒の正答率が高いデータもある。今後どう活用していくのか。



電子黒板で授業中

教育長 複数での登下校、涼しい服装や帽子の着用、水筒携行、熱中症防止グッズの使用など、発達段階に応じた要請をしている。

対策グッズの配布

問 冷感製品の配布や、学校への冷蔵庫整備はどうか。

教育次長 冷感製品は、これからも家庭の協力を得て発達段階に応じて対応していきたい。冷蔵庫の設置は、予算面や教職員の業務負担にもつながるため、現場の意見を聴き、対策を検討し、協議していきたい。

私もひとこと

少子化ではあるが、生活支援員の存在は大変ありがたい。
(50代男性)

総務厚生常任委員協議会

8月26日

入院環境の改善と余剰ベッド数の削減

「町立病院の病床数の適正化」について説明を受けた。

段階的に病床数を削減

【これまでの状況】

60床で運用してきたが、利用率は約6割。全国と比較し約1割下回っている。経営管理指標としては8割必要である。

【国の給付金】

9月末までに病床数を削減することで、国から経営強化緊急支援の給付金(1床につき410万4千円)の受給が可能。県の担当との協議の中で、3床を削減することとした。

【入院環境の改善】

8年度末までに、人数の6人部屋3室を4人部屋に改修し、ゆとりある入院環境の整備を行う。さらに個室を多目的相談室に転用することで、合計7床の減床を見込む。



「ゆとりの4人部屋」への改修を待つ

【減床の進め方】

- ① 条例を改正し9月30日から57床とする。
- ② 医療需要等を見極めながら段階的に対応し、8年度末をめどに53床とする。

質疑

定員超過への対応

【委員】 一時的に入院患者の受け入れが増大した場合、緊急時の対応として定員を超過することは可能とのことだが、具体的にはどのように対応するのか。

【当局】 改修し4人部屋となった多人数部屋を一時的に6人にするなど対応可能である。減らしたベッドは保管するため、最大で60床まで対応できる。



総務厚生常任委員会

9月4日

健康福祉センター、指定管理での運営に

「健康福祉センターの指定管理者選考状況」について説明を受けた。

指定管理者が決定

【公募】

8月20日までに募集を行い、3者からの応募があった。

【外部審査会】

8月22日に外部審査会を開催し、最高得点となった者を候補者として指定管理者選定委員会に推薦した。

【選定委員会】

8月25日に選定委員会を開催し、協議した結果、候補者とすべき者が選定された。

【候補者の決定】

- 選定委員会での結果を踏まえ、候補者が決定された。
- アクティオ株式会社
 - 所在地…東京都目黒区
 - 主な事業内容…指定管理業、施設運営事業、イベント運営事業
 - 指定管理の実績…154施設(県内2施設)

社員の常駐

【委員】 所在地は東京だが、その社員は当センターに常駐するのか。

【当局】 始めのうちは仙台市にある東北営業所から社員が来ることになると思われるが、地元の雇用も考えていると聞いている。



受付・総合案内(執務室)

質疑

外部審査の項目

【委員】 どのような審査項目があったか。また、当該事業者が優れている点は何か。

【当局】 サービス・維持管理・経費削減・適切な運営管理・経営の安定・効果的な利用など27項目あり、そのすべてで優れていた。特に、利用のしやすさといった点が良かった。

11ページに関連記事

※9月議会で可決し、10月1日から指定管理を開始。

その他
○第3次白鷹町男女共同参画計画の策定について
など、説明があった。

産業建設常任委員会 9月8日

アンケート結果を食育に生かす

「白鷹町食育・地産地消推進計画の策定」について説明を受けた。

【計画】

第4期白鷹町食育・地産地消推進計画が令和8年度から始まる。

家庭・学校・生産者などで構成する委員会を設置して意見やアイデア等を伺い、目標設定や行動計画など策定する。

計画に反映するためアンケート調査を実施している。

【スケジュール】

○令和8年1月
パブリックコメント
○令和8年2月
第3回策定委員会

質疑

アンケート

委員 前期アンケートでは意見の偏りが反省点と挙げられているが、今期の工夫は。



【当局】町の広報や公式LINE、コミセンなどで広く声掛けし、また、健康づくり推進委員の方々にも協力をいただいた。

委員 アンケート対象を小・中・高校生で区切る理由は。

【当局】同じデータを収集するため、第1期計画策定時から対象を変えていない。

どおりむ農園との連携に期待

「白鷹町6次産業化推進拠点施設整備事業」について説明を受けた。

【計画】

6次産業化推進拠点施設について、本町の特色を踏まえた利用しやすい施設を目指し検討を重ね、様々なニーズに対応すべく充実した機能を備える。

【変更点】

○測定室（追加）

pH値測定、各種数値確認、包装強度などの測定部屋を配置。

○器具保管庫（追加）

ラベルプリンター、電子レンジほか利用頻度の高い機器などの保管庫。

○新ボイラー・薪ストーブ（追加）

事務スペースや販売スペースの暖房として活用。

質疑

情報発信

委員 施設には販売スペースもある。告知用のデジタル看板等を設置してはどうか。

【当局】ご意見を参考に検討していく。

施設の連携

委員 どおりむ農園との連携をどう考えるか。

町長 付加価値を高められるかが重要。連携は検討段階から始まっている。

利用希望者の声

委員 利用希望者からの具体的な要望は。

【当局】ドライフルーツや漬物などの加工で活用したいとの声がある。引き続き情報発信し、有効活用いただけるように努めたい。

増える空き家に対処する

「第3期白鷹町空き家等対策計画の策定」について説明を受けた。

【計画】

白鷹町空き家等対策計画について、法改正や国指針に即し、令和8年度からの第3期計画を策定する。

【計画期間】

令和8～12年度

○令和7年12月

パブリックコメント

○令和8年3月

計画決定・公表

質疑

空き家認定の状況

委員 町内に管理不全空き家の認定はあるか。

【当局】現時点では無い。管理不全空き家については次期計画の中で協議していく。

その他

○令和7年度除雪事業について

○白鷹町下水道事業経営戦略の改定について説明があった。

現地視察

「津島台浄水場」を訪問し、4月に発生した水道水濁りの状況や、現在実施している受電盤設備更新工事の状況について説明を受けた。



令和8年度政策提言

(令和7年8月26日)

提言2. 新たな人の流れの形成と、郷土を愛する「ひと」づくり

1. 総合的な福祉人材の確保対策

- ・福祉人材確保のため、職員の処遇改善や離職防止や定着促進など、更なる総合的な対策に取り組むこと。

2. 教育環境の充実

- ・学校生活支援員等を継続配置し、土日や長期休暇等では、学習の場の開設に取り組むこと。
- ・気象状況によらない屋内プール施設整備の検討を早急に進めること



町の支援で人材確保

提言3. 安心して働き、魅力と活力にあふれる「しごと」づくり

1. 働きやすい職場環境の充実を図り若者の町内定住を促すこと

- ・若者が安心して暮らし働ける環境づくりを推進し、支援制度の拡充を図り、分かりやすく利用しやすい制度として周知・広報すること。
- ・若者が「この町で働き、暮らし、家庭を築きたい」と感じられるよう、魅力ある職場環境づくりを力強く推進すること。

2. コメ政策等への対応

- ・主食用米の不足は深刻な社会問題。その要因を検証し、生産現場に根ざした持続可能な政策を国に強く要望されたい。
- ・「生産の目安」には現場の声を反映させて、地域計画に沿った農業振興策を構築すること。
- ・担い手確保は喫緊の課題。機械導入等に多額の資金を要するため国・県の支援制度を的確に把握・周知し活用促進を図ること。



日本の原風景

潤いのあるまちづくりを

緊急事故時の対策や教育環境の充実、コメ政策等への対応など、「人、そして地域が輝き続ける潤いのあるまちづくり」実現に向けて町長に提言しました。



全文は
こちらから



提言1. 安らぎを感じ、安心して暮らせる「まち」づくり

1. 緊急事故時の対策

- ・断水事故の課題を検証し、町民の安心・安全を守るため情報伝達網の整備を確立すること。
- ・有事の際の資機材等の整備を行うこと。

2. 賑わいと活力を生む循環型観光の実現に向けた協働による観光まちづくりの推進

- ・町内の観光資源を循環・活用していくため、町民や関係者が一体となり課題や方向性を共有・議論できる場を早期に設けること。

LINE

白鷹町 公式アカウント

登録はこちらから

QRコード▶
を読み取り
友達登録



議員管外研修報告

総務厚生常任委員会

(7月15日～17日)

新潟県津南町

「移住定住推進支援」について

人口約8300人、新潟県最南端の豪雪地帯でありながら、年々移住者数を増加させている。

アルバイトと旅を組み合わせた「おてつたび」による移住体験ツアーを通じ、雪国の実際の生活を体験する事や、地域の住人との交流を通して移住後の不調和を防いでいる。移住者数は令和5年度56人、6年度67人であり、例年60人前後が移住している。

富山県舟橋村

「人口が増え続けている施策」について

人口約3300人、面積が日本一小さな自治体で、40年近くも人口増加を実現してきた。

「子育てに優しい村」という方針に基づき、村営住宅の設置で子育て世代の流入を促進し、ひまわりの栽培を核とした取り組みで地域の課題解決や観光振興を図っている。

地域の公園整備を通じ、住民が参画する「縁結びプロジェクト」では、小学生がイベントの企画・運営にも参加する中で、親同士のつながりも生まれ、地域社会が活性化しており、移住先に選ばれる機会が増えている。



小学生のアイデアがいっぱい (舟橋村)

まとめ

津南町は移住者を引き付ける魅力的な施策を展開しており、地域住民との共助が実現されている。舟橋村は小さな村ながら、子育て施策と地域共創の取り組みが功を奏している。大変参考になる貴重な研修となった。

産業建設常任委員会

(7月22日～24日)

群馬県川場村

「稼ぐ観光としての地域振興」について

「農業プラス観光」

を軸に地域振興を進めており、道の駅「川場田園プラザ」は年間約290万人が訪れ、指定管理料を上回る収益を村に還元して持続可能な観光モデルを実現している。

成功の背景には、世田谷区との長年の交流や、赤字経営からのV字回復を果たした民間経営の手腕が挙げられる。

埼玉県桶川市

「道の駅を活用した先進事例」について

道の駅「べに花の郷おけがわ」は、完成直後から年間売上目標の約6割を2カ月で達成。施設的设计・建設から維持管理・運営に至るまでを一括して発

注し、効率化やサービス向上を実現している。市民・行政・事業者が一体となり「稼ぐ観光」の実現を目指している。

まとめ

両自治体の事例から、観光を地域経済を支える「投資」として捉え、民間との連携や収益構造の工夫による持続可能な観光モデルの重要性が示された。白鷹町の観光政策における収益性や戦略性を考える上で多くの学びを得る貴重な機会となった。



「稼ぐ道の駅」川場田園プラザ

編集後記

▼昨年から米騒動や天候不順による農作物への影響が心配され、食の自給の大事さを、改めて思い知らされる事となりました。町の基幹産業であり、国土保全をも担う農業をもっと考えなくてはならないと感じたところです。

▼朝晩の冷え込みと、ススキが夕日に輝く姿を眺めては、確かな季節の移ろいを感じます。▼空気が乾燥し、感染症も増加する季節ですので、どうぞご自愛ください。(衣袋)

広報委員

委員長 佐々木誠司
副委員長・編集長 衣袋正人
委員 山田仁
委員 笹原俊一
委員 横山和浩
印刷・(株)梅津印刷

次の定例会は12月です

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

発行責任者 白鷹町議会議長 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp

電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
HP http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/



議会だよりしらたか 第168号(令和7年10月15日発行) 20